

20170716 「はじめの人アダムとエバ」

目標：人の創造と墮落の記事を通し、人は神のかたちに似せられたにも拘わらず、罪にまみれている矛盾の姿を知り、その記事中に既にキリストの救が約束されていることを知る。

聖書箇所：創世記2：15-3：24 時間：10分

暗誦聖句：「主なる神は土のちりで人を造り、命の息をその鼻に吹き入れられた。そこで人は生きた者となった。創世記2：7」

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：中3×1 中1×1 小6×1 小5×3 小3×1 小2×1 小1×2 未就園児×2

留意点：聖書が示すのは人間の本質の物語による叙述である。私達の現実中存在する矛盾を俯瞰することから、人間の中にある矛盾に気づかせたい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	皆さんは、(私達も含め)人間は、良いものだと思いますか、それとも悪いものだと思いますか。理由も答えて下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ・良いもの ・悪いもの ・わからない 	<p>提示の仕方は工夫して良い。理由も挙げさせ、人間の多様性に気づかせる。</p> <p>良いと言ったら悪いと思えることを挙げ、悪いと言ったら良い面を挙げて、いろいろな視点でたくさんの方があることに気づかせたい。</p> <p>理解力があるようなら、中国の性善説、性悪説などに触れても良い。</p> <p>本日の課題の提示</p>
課題探究	6分	<p>実は聖書は、最初に、その事を私達に教えているのです。</p> <p>神様がこの世界を造られた時に、神様は人を最後に造られて、特別に設けられたエデンの園に住ませました。</p> <p>最後に人が造られたと言うことに込められた意味は何でしたか。</p> <p>神様は、最初の人アダムを深く眠らせ、そのあばら骨から女を造り、助け手としました。頭でも、足でもなく、胸からです。</p> <p>彼らはとても幸せだったのです。ところが、そこに誘惑がやってきました。</p> <p>蛇の誘惑は、神様の言葉を少しだけ変えるというものでした。</p> <p>エバは言われて、もう一度知恵の木の実を見たところ、蛇の言うとおりに思ったので、食べました。</p> <p>一緒にいた夫にもあげたのです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・創造の冠 ・神様の最高の被造物 	<p>これについては覚えている子供がいるかもしれない。様子を見ながら、適宜質問して進めると良い。</p> <p>前回やっているの、復習になる。</p> <p>男と女は、対等の存在であり、お互いに助け手であることを掴ませる。</p> <p>あばら骨から造られた意味は問うてみる。</p> <p>女は、男より後に創造されたとし、なお創造の冠なのだとする考え方もある。</p> <p>蛇は、その絡みつくイメージを強調し、蛇自体を貶めないように気をつける。</p> <p>ここには誘惑を回避する大きなヒントがある。</p> <p>神のようになる誘惑を受けたことを掴ませたい。</p> <p>味、見た目、賢さの誘惑それぞれへの言及は、今回は行わない。</p> <p>「一緒にいた」夫という文には、男と女の誘惑への反応の違いが読み取れる。夫は罪について傍観し、かつ妻の誘いに乗った事、妻の方が積極的である事などである。</p>
まとめ	2分	<p>神様は、人が罪を犯したために、神様から離れ、死を迎える存在になったことを告げました。しかし、同時に、救い主の預言をされます(3：15)。</p> <p>人は、神様の形に作られた素晴らしい存在です。しかし、誘惑により罪を犯し、神様から離れてしまい、命を失ってしまいました。神様が、その私達を救うためになされた御業が記されていくのが、この聖書で在り、イエス・キリストなのです。</p> <p>暗誦聖句</p>		<p>190号のテーマ「神の恵みに生かされる」からの反映。</p> <p>矛盾の存在である私達に、神様があわれみを与えて下さっていることが最後に残るよう心がけたい。</p>

